



# Rally Racing

世界に轟くOZレーシングの代名詞は  
WRCが求めた孤高のスタイリング

# OZ RACING

© オーゼットジャパン <https://www.ozracing.com>

PHOTO: 森山俊一  
REPORT: 渡辺大輔



センターに広がるディスクデザインは、ターマックで跳ねた石がブレーキを破損させないようにガードするのが狙い。このディスクにフィン状のスポークを組み合わせたデザインが、OZレーシングのブランドイメージにもなっている。スポーク形状はハイパワー化とともにタイヤ性能の向上に合わせて刷新される。太く接合面も広げることで剛性と強度を格段にアップしているのだ。レーシングホワイトのカラーに赤いOZ Racingのロゴは多くのファンを虜にするブランドアイデンティティ。



WRCで培ったノウハウをもとに、細部まで鍛え上げられたGRヤリス。その足もとを飾るなら、やはりその本質を表現できるアイテムが必須といえるだろう。その点でいえばOZレーシングはうってつけのブランドといえる。中でも伝統を受け継ぐラリーレーシングやスーパーツーリズムWRCは、まさにGRヤリスにベストマッチする最強のモデルなのである。

特にラリーレーシングは1989年にデビューし、カルロス・サインツが乗るトヨタ・セリカ4WDを勝利に導いた名作

モデル。その後もラリーの世界では多くのマシンに採用され、ラリーホイールとして圧倒的なシェアを誇っているのはご存知の通り。そんなラリーレーシングの基本コンセプトを受け継ぎ、現代のハイパワーマシンに合わせてリファインされているのが現行モデルというわけだ。

デザイン的にはブレーキを保護するディスク形状にフィンを組み合わせたコンセプトはそのまま。しかし大口径化のトレンドに合わせてフィン形状を変更しつつ、さらにハイグリップ化が進

むタイヤ性能に合わせて強度と剛性もアップ。さらに、トヨタ・イタリアがイタリア国内ラリー選手権で開催するGRヤリスのシリーズ戦でも使用されるという。

同様にWRCのターマックスステージで鍛えられたラリーウエポンをもとに、レプリカとしてストリートモデルへと落とし込まれたのがスーパーツーリズムWRC。舗装路を主戦場としたデザインは、ラリーレーシングとは大きく異なり軽量性能を重視したスポークデザインを採用しているのが特徴だ。カラ

ーリングも伝統のレースホワイトにレッドのロゴを採用したワークス仕様。ストリートでパフォーマンスを主張できるだけでなく、16インチからのラインアップはジムカーナなどのモータースポーツでも活躍してくれるだろう。

WRCを背景に捉えたとGRヤリスとOZレーシングの親和性はまさに絶妙といえる。しかもラリーレーシングとスーパーツーリズムWRCはともにイタリアメイドの本格派。その製造工程も注目ポイントで、独自の低圧鋳造プロセスは約700℃まで熱した合金を低

圧でモールドのそこから最上部まで注入。余分な空気が入らないため接合部や孔、空洞が見られないため高品質な製品づくりの鍵となっている。さらに熱処理を行いつつHLTによって重量の軽減や構造的な強度をアップする。WRCだけでなくF1やモトGPといった様々なモータースポーツをサポートするからこそその高性能を実現できるというわけだ。伝統と革新を併せ持つOZレーシングなら、GRヤリスの本当のパフォーマンスを引き出してくれるはずだ。

# Superturismo WRC

ストリートからジムカーナまで対応する  
WRCの名を冠したワークススタイル

## Superturismo WRC

SIZE	P.C.D.	HOLE	INSET	PRICE
17×7.0J	114.3	5	45	¥48,400
18×8.0J			40	¥64,900

カラー: レースホワイト  
ハブ径: φ75  
※この他にも各種サイズ/PCD設定あり



## Rally Racing

INCH	SIZE	P.C.D.	HOLE	INSET	PRICE
17	7.0J	114.3	5	38/45/53	¥51,700
	8.0J			45	¥53,900
18	7.5J	114.3	5	45/50/53	¥66,000
	8.0J			45/50	¥67,100
19	8.0J	114.3	5	45	¥80,300
	8.5J			38/45	¥81,400

カラー: ダークガンメタ、レースホワイト  
ハブ径: φ75  
※この他にも各種PCD設定あり



舗装路を想定したデザインはホイール重量の軽減とともに路面から伝わる衝撃を分散させるためのマルチスポーク形状が採用される。細く伸びやかなスポークはパフォーマンスだけでなくスタイリッシュな印象も与えてくれ、センターサークルはOZレーシングのロゴが赤で入れられる。レースホワイトのカラーリングとの組み合わせは往年のワークスモデルを彷彿とさせてくれる。

